

幼児クラス（3・4・5歳児）

活動人数 17名



活動日 令和7年2月14日

活動時間 10:00-11:15

テーマ

集めた素材でお店屋さんごっこ

<テーマの設定理由>

秋からコツコツとあつめてきた自然物の素材。何に使おうか、どうやって遊ぼうかとみんなで相談してお店屋さんごっこをすることにしました。園の中にある物、日本の色の名前がついたペンキを使ってお店屋さんの組み立てからお客さんが来てくれるまで子どもたちの発想にまかせて自由に遊ぶことにしました。

どこで何をする？

<活動スケジュール>

キッズハウス浜町公園 本園

● お店のキッチンと棚作り
● お客さんに出すご飯作り

何が必要？

<環境デザイン・準備物・環境設定>

- カメラ（記録用） 紙ねんど
- ブルーシート 自然物素材
- 筆
- カップ・皿
- 紙やすり

実践記録

<活動内容>

拾ってきた素材を使ってお店屋さんごっこをしよう！
【準備作業編】

【2025年2月14日 温度22度 湿度29%】



秋と冬、戸外活動で沢山ドングリや枝や葉っぱを集めてきました。お気に入りの石や枝。それぞれに拾ってきたものに思い入れがある様子です。

「どんぐりとか枝とかいっぱい集めたね。何に使おうか？」

「これ（どんぐり）さ、お皿に入れてご飯にするのどう？」

「いいね！ジュースとかは？」

保育者：活動が広がりそうな様子を見て「じゃあ、保育園にあるキッチンも使ってお店屋さんするのはどう？」

準備したもの
自然物にも色を塗ることのできるペンキ

和名の色のペンキたち
つつじ色：真珠色：みずさぎ色

独特のカラーで色がまじりあっても穏やかな色になるように工夫されています。また自然物に塗っても色が乗るようになっています。

まるで職人のように筆をうごかし黙々作業しています。

年長児は役割を自分たちで分担し始めました。
「女の子でこっち側を塗るから、こっち側は男の子たちで手伝って。」

「ここをもう少しぬりたいんだよね。」
「点々でかいていくのはどう？かわいくない？」

「ここに枝を付けて看板みたいにするのはどう？」



キッチンや棚づくりが終わると、今度はドングリや葉っぱや紙粘土でご飯作りがはじまりました。

【素材と素材を組み合わせる】
「どングリジュース！この棒はねストローだよ。ちゅーて飲めるんだよ！」

【ペンキで装飾して】
枝についた葉にペイントをしている
保育者：「何をつくっているの？」
「ハッピーセットのおまけをつくってるんだよ。」

【紙粘土と組み合わせる】
「ピザにしようと思ってる。」
「えーいいね！じゃあ私クレープ作ろうかな。」
「この葉っぱ余っているからここにつけるのはどう？」
「うーん。でもこれだと食べずらいかも。」
「そっかー。うーん。あー！！お皿の上のにのせたら？」
「あー！いいねいいね！」



振り返り

<振り返りによって得た保育者の気づき>

自然物の形や色を生かし、友だちとアイデアを共有しながら活動に取り組んでいました。ひとつの物が出来上がると、あ！これはどうかな？あれもやってみようかな？と発想や想像が発展していく様子も沢山みることが出来ました。

他児のアイデアに、自身の経験を加えて、更に楽しくなるように、そして良いものになるように、試行錯誤しながら繰り返し取り組む姿は、まさにPDCAサイクルです。

PDCAサイクルとはP（Plan/計画）、D（DO/実行）、C（Check/評価）、A（Action/改善）この4つのステップを繰り返すことで業務や品質を改善する手法です。

誰に言われたわけではないけれど、自分たちの知恵と工夫と協力を組み合わせたらお店屋さんの品質向上につながったというわけです。

なんでもやってみようとする好奇心、探求心、仲間と一緒に楽しみたいと思う心が子どもたちの遊びの原動力になっているのだと、改めて感じる事ができました。